

令和3年度 第1回 定例学習会 情報交換まとめ

《委託連携加算について》

算定要件について、まだはっきりしていない部分があります。確認でき次第、また周知していけたらと考えています。

《通院時連携加算について》

圏域内で1名、算定されたケアマネさんがいらっしゃったのでお話を伺いました。

◇どんなケースだったか

認知症の方で、診断を受けるまでに何度も足を運んだ経過があり、その方について算定。

◇情報整理のしかた

連携した情報については、支援経過への記載で問題ないとのことで、そのようにまとめている。

◇算定に際し、プランへの記載は行ったか

特に1～3表への記載はしていないが、“計画書”の範囲は1表～3表だけではなく、支援経過も含まれるため、特に問題はないと考えている。

※介護報酬の解釈 1(令和3年4月版 P866 より抜粋)

利用者が医師の診察を受ける際に同席し、医師等に利用者の心身の状況や生活環境等の必要な情報提供を行い、医師等から利用者に関する必要な情報提供を受けた上で、居宅サービス計画等に“記録”した場合

に算定が可能とされています。

〔参考〕居宅サービス計画書 第1表 ～ 第7表

第1表 居宅サービス計画書(1)

第2表 居宅サービス計画書(2)

第 3 表 週間サービス計画表

第 4 表 サービス担当者会議の要点

第 5 表 居宅介護支援経過

第 6 表 サービス利用票

第 7 表 サービス利用票別表

《コロナ禍の業務の中で思う事・感じる事》

ご参加いただいた皆さまより、ご意見をいただきました。

◇在宅ワーク

- ・ZOOM 活用もあまりうまくいかない。
- ・自宅からでは FAX ができないため、管理者へ依頼し送ってもらう等している。

◇病院・施設等での面会

〔施設職員意見〕

- ・オンライン面会を月 1 回実施。家族に来所してもらい、PC 越しに 10～15 分程度の面会を行っている。
- ・看取り対応について、家族を本人と会わせる事ができず苦慮した。法人の方針のため、なかなか覆すわけにもいかず難しい。

〔居宅ケアマネ意見〕

- ・施設モニタリングができない。窓越し面会で、もどかしい。
- ・入院、入所すると面会ができず、入院中の自分の家族にも会えない。
→関連意見「会えない反面、施設側も感染予防をしている。今後はタブレット活用等、コロナを踏まえた動きができるようになると良いと思う」とも。
- ・入院中のアセスメントができない。書面のみのやり取りで、退院後からの調整となってしまう。
→同様意見「退院し生活していく中で適時検討していく、と割り切って対応し

ている」とも。

- ・デイ併設のため、デイ利用中に面談を行う事もあるが、利用者が以前より周りの目を気にしている様子がある。

◇認定調査について

- ・認定調査同席の制限があり、本人の状況を伝えられない。
→同様意見「調査員は軽装に見える。同席を制限するならフェイスガードを着ける等したら良いと思う」とも。

◇その他

- ・今後はワクチン接種の有無等で、上記のような制限についても制限緩和等を考慮してもらえるようになるとありがたい。
- ・現在の居宅事業所に入職し2か月半だが、本人の顔と名前が一致しない。会えても1回顔を見ただけ…。コロナ禍以前とはまた違う困難さがある。

——ご参加いただいた皆さま、どうもありがとうございました。

【第2回定例学習会】

日時:令和3年10月以降

内容:①事例検討発表

勤医協かぐら様 CMの担当ケースを、あさひ園様が事例検討。その内容と結果を学習会内でご報告します。

②介護支援専門員倫理綱領について

その他 近況・情報交換 等

詳細が決まりましたら、また皆さまへお知らせいたします。